

宇都宮市教育委員会だより

学べば
愉快だ
宇都宮
ITSUNOMIYA

令和2年2月発行 Vol.

20



目次

- 1 宇都宮市の教育や子どもたちを支える人たちを紹介します！
- 2 教育委員コラム
- 6 司書さんのおすすめの1冊
- 7 きらきらびと見つけた
- 9 令和元年度のイベントの様子
- 10 令和2年度 教育委員会イベントカレンダー
- 11 宇都宮市育英基金への寄附のお願い



宇都宮市の 教育や子どもたちを 支える人たちを 紹介します！



プロフィール

- 勤続年数：23年
- 趣味：ウエイトトレーニング
- 好きなもの：猫、学校給食、和食、奥さんの手料理、宇都宮 BREX など

ALT (外国語指導助手)
Farril Robertさん (雀宮中学校、雀宮中央小学校勤務)

子どもたちに楽しんで英語を学んでもらいたい

ALTは、ネイティブスピーカー（母国話者）として、「子どもたちの実践的な英語力を伸ばすためのスペシャリスト」です。主に、英語授業の補助や、ティームティーチング（複数の指導者で行う授業）で使用される教材の準備をしています。例えば、先日の授業では、「ディズニールンドで、何に乗ったり、食べたり、見たいですか。」や、「社会体験学習でどこに行き、何をしましたか。」など、子どもたちにとって身近な話題について英語を使って、自由に話し合ってもらい、会話を楽しみながら英語力を身に付けることができました。

さらには、ネイティブスピーカーが、話したり、書いたりする言葉をより自然な言い方にしたり、発音指導をするほか、教科書に出てくる表現をより実践的な言い方にして示すこともあります。

また、授業の冒頭には、その日に行う

宇都宮市の教育は、学校・家庭・地域それぞれの分野のスペシャリストにより支えられています。

特に、学校教育を支える学校勤務の市費非常勤嘱託員は全国平均約2倍の438人で、中核市54市の中でもトップレベルの配置数です。

また、保護者や地域の方々にも、子どもたちの学校生活をよりよくするため、PTAや魅力ある学校づくり地域協議会等を通じて、多様な支援をいただいています。

今回は、自身の能力を活かし、縁の下の力持ちとして、それぞれの分野から子どもたちの豊かな学びを支える6名の方を紹介しします。



プロフィール

- 勤続年数：2年
- 趣味：自然の中を散歩すること
- 好きなもの：動物（特に、馬と犬）

学校業務機動班嘱託員
寺内 かおりさん (城山中ブロック)



▲学校のすべり台のペンキを塗り替える様子。



▲学校の松の木を剪定する様子。

子どもたちの学習環境を快適にするため、安全第一で日々頑張っています

学校業務機動班嘱託員としての活動は2年目。未経験の作業も多いので、今後は経験を積みながら、一つでも多くの作業ができるようになりたいです。

力仕事が多く、女性の身では大変なこともありますが、そういった作業を無事に終えた時や作業先で「ありがとう」と感謝された時、子どもたちの笑顔が見られた時には、この仕事を続けていて良かったと思います。

日々、異なる作業をグループで行うため、その日の段取りを話し合うなど、いかに効率よく、スムーズに作業を進められるかが重要です。また、作業の際には仲間の動きを記憶し、次回に生かせるよう、心がけています。

作業する際には、「ケガをしない。させない。」をモットーに、安全第一に努めるほか、学校から依頼された仕事については、その都度、依頼された理由を考え、要望に応えるように努めています。

学校業務機動班は、学校からの要望に応える「何でも屋さん」です。除草や樹木の剪定以外にも、畑のつる切りやプール掃除、遊具のペンキ塗りや運動会前のテント設営など、様々な作業をしています。機動班は12班あるのですが、私の所属する城山中ブロックでは、城山中小や城山中を含む全8校を日替わりで訪問しています。

教育委員コラム

おおもり れいこ
大森 玲子 委員



小中学校時代に寄り添ってくれた恩師とは、今でも年賀状のやり取りが続いています。

N先生には小学3、5年生の担任としてお世話になり、中学でも保健体育と部活動を通して、人との関わりについて心に残る指導をしていただきました。H先生は中学2、3年生の担任で、3年間数学を教わり、私のエネルギーを数学に向かうよう導いてくださいました。

二人の先生方がいらっしやなければ今の私はいません。家庭環境が大きく変化した小中学生時代、私の変化を感じ取ってくれたのだろう、不思議なくらいに、いつも絶妙なタイミングで声を掛けてくださり、折れそうな心の支えになることも多かったです。

中学校を卒業する際に選んだ座右の銘は「一期一会」。支えてくださった先生方や友人達との時間を振り返ったときに自然と出てきた言葉です。確か卒業文集か何かに記したと記憶しています。

宇都宮市教育委員会ホームページでは「子どもの手本となる50の言葉^(※)」を公開しています。その中にも「一期一会」があります。自分の子どもはもとより、すべての子どもが家庭や学校、地域で、その瞬間その瞬間を安心して幸せに過ごせるよう、耳を傾け寄り添っていきたいと思います。

◇ 経歴

宇都宮大学地域デザイン科学部教授。
宇都宮市食育推進会議会長などを務め、令和元年10月に宇都宮市教育委員会委員に就任。



子どもの手本となる50の言葉

その他の言葉は
コチラから

宇都宮市では、社会総ぐるみによる人づくりをより一層推進するため、大人が子どもの手本として行動する拠り所として、「子どもの手本となる50の言葉」を選定しました。



- ▼ 初心忘るべからず
- ▼ 千里の道も一歩から
- ▼ 人のふり見てわがふり直せ

ALT(外国語指導助手)とは?

ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、英語教員を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える、英語(外国語)を母語とする外国語指導助手のことです。宇都宮市では、児童・生徒がコミュニケーションを通して、語学力や国際理解教育の向上を目的に、全小中学校の英語授業をサポートしています。

☎ 学校教育課 ☎ 028-632-2729



▲グループワークでアドバイスをを行うファリル先生。



▲授業前にその日の授業で使用するプリントを受け取る英語係。



▲分からない言葉は、翻訳ソフトを使って調べます。

これからも楽しく英語を学んでもらうため、子どもたちは心を込めて英語を教えていきたいです。

課題の説明をするのですが、子どもたちが私の伝える英語のみの説明を、何とか自分の力で理解しようとする姿が見られたときや、授業後の嬉しそうな表情や声の様子から授業を楽しんでいたということがわかったとき、さらには思うように課題が進まない友人にも率先して手を差し伸べ、一緒に解決しようとする姿が見られたときには、この仕事を続けていてよかったなとやりがいを感じます。

学校業務機動班とは?

記事で紹介したような学校環境整備等を担う、職員や嘱託員で構成された5~6名一組のチーム。

そのうち、学校業務機動班嘱託員は30人おり、女性は2人。寺内さんは、そのうちの1人で、女性の学校業務機動班嘱託員として、宇都宮市で初めて採用されました。



▲終始笑顔の城山中ブロックの皆さん。

☎ 学校管理課 ☎ 028-632-2719



▲全員で協力しながら、各教室のエアコンの掃除をしました。



プロフィール

- 勤続年数：4年
- 趣味：つまみ細工、クロスステッチ、写真撮影、ドライブ、きもの
- 好きなもの：猫（4匹飼っています）

魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター
仲山 初枝 さん (古里中学校)



▲学習支援員が問題解決の手助けをします。



▲入口にある「ふるさと未来塾」の看板。



▲「ふるさと未来塾」で学習する古里中学校の生徒。

コーディネーターの仕事を通じて、子どもたちの活動の場を広げる手助けをしたい

以前、学校に足を運んだ際に、校庭の真ん中から少し離れた場所にいる私に「仲山先生」と大きな声で呼びかけ、笑顔で

また、令和元年5月からは「ふるさと未来塾」もスタートしました。子どもたちは持参した教材で自習し、分からない部分は、毎回来てくださる学習支援員（大学生や指導経験のある地域の方）が教えてくれます。毎週水曜日の午後3時30分から午後5時までの間、河内地区市民センターの会議室で実施しており、古里中学校の生徒であれば誰でも参加できます。顔見知りの大人がいつでも来てくれるので、子どもたちも安心して利用しています。

例えば、中学2年生の社会体験学習「宮子チャレンジジューク」の際には、受け入れ先が休業のため、学校に残ることになった生徒を対象とした活動支援を行っています。図書室と被服室に分かれて活動するのですが、被服室では布製のブックカバーを制作しています。制作したカバーは、年間の読書量が1万ページを超えた生徒へのプレゼントにしています。

4年前から、古里中学校の魅力ある学校づくり地域協議会で地域コーディネーターを務めています。地域協議会には、常時30名ほどのボランティアが在籍しており、みなで力を合わせて、様々な活動に取り組んでいます。



プロフィール

- 勤続年数：5年
- 趣味：ゴルフ
- 好きなもの：トマトスパゲティ

特別支援教室指導員
岩立 正恵さん (姿川中学校)



▲この日は数学の小集団授業を行っていました。



▲子どもたちとコミュニケーションを取りながら、ポイントを絞って、わかりやすく指導します。

特別支援教室を訪れる子どもたちの成長を感じると嬉しくなります

かがやきルームにはいろいろな子どもたちが訪れるので、指導した子どもたちが、「勉強することが楽しい」「勉強がわかるようになった」と言って前向きに授業に参加するようになった時や、合唱コンクールへの参加を躊躇していた子へ「自分の可能なことからいいから参加してみたら」と後押ししたところ、徐々に練習に参加するようになり、コンクール当日にはステージ上でちゃんと声を出して歌えるようになった時など、学習以外にも積極的にチャレンジできるようになっ

かがやきルームでは、学校に通う生徒のうち、学習面や行動面での支援を必要とする子どもたちに対して、それぞれに応じた学習指導やコミュニケーションスキルの指導を行っています。学習指導では、国語・数学の2教科の学習を、1週間で5時間を限度とし、個別又は小集団で実施しています。生徒との関係性は、出会ったばかりの頃はお互いに知らないことも多いですが、顔を合わせる度に日常会話を通して、その子がどういったことに興味を持っているのかを知り、話題に取り入れながら様々な話をしていく中で、段々とどっくばらんな話ができるようになっていくのですよね。だからこそ、私は普段から、生徒の内面の気持ちや感情を敏感に感受できるように、子どもたちの話にはよく耳を傾けて、コミュニケーションをとるよう心掛けています。

宇都宮市の教育や子どもたちは多くの 市民の皆様から支えられています



今回ご紹介した方以外にも、各地域にお住まいの大勢の市民の方々の支援により、子どもたちの豊かな学校生活は支えられています。

そのような中、宇都宮市では、学校教育への支援や地域における子どもの育成活動を継続して5年以上実践している個人・団体や長きにわたり教育委員会と協働で講座を実施し、本市の社会教育振興に貢献された企業等に対し、年1回感謝状を贈呈しています。

令和元年11月24日(日曜日) 教育支援者及び社会教育振興貢献企業等を 対象とした感謝状贈呈式を開催



令和元年度は、教育支援者92者(個人71名、団体21組)と社会教育振興貢献企業等2者に感謝状を贈呈しました。



令和元年度感謝状贈呈式 受賞者代表

てつか せいし 手塚 征史さん(西小学校推薦)

西小学校の安全ボランティアとして、登下校時の見守り活動を46年間の長きに渡り実施。その他、学校の植物への水やりなど、学校環境の維持にも尽力。活動を通して、子どもたちに思いやりと感謝の心を伝えています。



宮の原地区老人クラブ連絡協議会様 (宮の原小学校推薦)

宮の原小学校への、雑巾や運動会の紅白玉の製作・寄附を40年間実施。活動を通して、子どもたちに感謝の気持ちを持つことの大切さを伝えています。



魅力ある学校づくり 地域協議会とは?



各学校に設置される団体で、学校・保護者・地域が一体となって、地域に根ざした活力ある学校づくりを推進し、未来を拓くたくましい宮っ子の育成を目指しています。

地域協議会では、記事で紹介した学習支援事業(通称「地域未来塾」)をはじめ、地域の教育力を活かした学校教育の充実を図る取組や、家庭教育力を向上させるための事業等を実施しています。

📞生涯学習課 ☎ 028-632-2679



▲古里中学校の図書委員の子どもたちに、手作りのクリスマスリースの作り方を教えています。



▲それぞれの個性が輝くクリスマスリースが出来上がりました。

手を振ってくれたお子さんがいました。そんな子がいると、この活動を続けていってよかったです。嬉しくなりますし、活動の励みにもなります。これからも子どもたちの活動の場を広げるために、頑張りたいです。

特別支援教室 「かがやきルーム」とは?



宇都宮市では、通常の学級に在籍し、発達障がい等の傾向により、学習や生活上に困難を抱え、特別な支援を必要とする子どもたちが、必要な時間のみ個別指導や小集団指導を受けられる教室を、「かがやきルーム」と名付け、全国に先駆けて全小中学校93校に設置しています。

📞教育センター ☎ 028-639-4381



▲教室の隅には、かがやきルームを訪れる子どもたちが作った折り紙が飾られていました。

たり、周囲の気持ちを考えて譲ったり我慢できるようにしたりする姿を見た時には、子どもたちの成長を感じて嬉しくなります。

私から子どもたちに教えるだけではなく、逆に子どもたちから教えてもらうことも多いです。今後は、学習面の指導だけではなく、特に生徒とのさりげない会話を大切にしながら、生徒の些細な変化に気付き、アドバイスができるようになっていきます。



横川東小学校の保護者が設立
たぶリエっぺの皆さん

子どもたちの笑顔が私たちのパワーになっています

たぶリエっぺは、平成24年4月に立ち上げた教育活動をサポートするボランティア団体で、活動開始から今年で8年目を迎えました。

立ち上げのきっかけは、以前から気になっていた薄暗い昇降口でした。子どもたちも毎日使う昇降口。明るくできないといいなと思い、「できる時にできる事をできる範囲で」をモットーに、横川東小学校の保護者に参加を呼び掛けたところ、20人が手を挙げてくれました。

メンバーは、横川東小学校の児童の保護者等です。中には、自分の子どもが卒業した後にも、ボランティアとして残り、活動してくれている人もいます。

たぶリエっぺでは、昇降口の飾りを季節ごとに張り替えたり、子どもたちが授業で使うアイロンの収納ケースや、オルガンの故障を防ぐためにかけておくオルガンカバーなどを製作しています。ほかにも、学校からのリクエストに応じて、家庭科や音楽などの授業で使用する教材などを製作することもあります。

活動する時には、子どもたちのために学校や地域が一体となってできることは何なのか、どうすれば子どもたちに喜んでもらえるのかといったことを考えて活動しています。

そのため、学校の先生方から私たちが製作した授業の教材を喜んでもらえた時や、昇降口や廊下の飾り付けなどをして



▲昭和31年に結成されたみどり会の皆さんによる学校の中庭の松の木や藤の枝の剪定の様子。



▲ふれあい給食の様子。



▲「清南まつり」で行われた催し物。子どもたちも地域の方も笑顔です。

子どもたちが様々なことに興味を持てるよう、全力サポートしています

清原南小学校PTAは、ベルマーク回収や牛乳パックのリサイクル、広報紙発行のほか、地域と連携した行事の開催など、幅広い活動をしています。

例えば、校内内植物の手入れを地元有志で結成された「みどり会」の方々と行う奉仕活動の実施や、PTAを挙げて様々な体験活動や催し物を行い、児童・地域とのふれあいを目指すPTA文化祭「清南まつり」はその一例です。子どもたちが保護者や地域の方と一緒に給食を食べ、食育への理解促進を図る「ふれあい給食」についても、学校と協力のもと実施しています。

また、清原南小学校には、学校近くにある高田沼でのもち米栽培や地元農家での収穫体験など多彩な体験活動の機会がありますが、そのどれもが地域の方による協力が欠かせないものです。ほかにも子どもたちの防犯・交通安全・読み聞かせ等、様々な場面で保護者や地域の方がボランティアとして協力してくださっています。PTAは児童一人ひとりが笑顔で安心な学校生活を送れるよう、学校と地域・保護者の架け橋となってサポートをする存在です。

こうした取組が評価され、清原南小学校PTAは、平成22年度には「栃木県教育委員会表彰」を、平成29年度には「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞しています。



清原南小学校 PTA
かたぎり さいし
会長 片桐 総さん



清原南小学校
よしずみ ひろこ
校長 吉住 寛子さん

「たぶリエっぺ」とは？

「お母さん＝エプロン」と連想し、フランス語で「エプロン」を意味する「タブリエ (tablier)」に、栃木らしく「ぺ」をつけて、「たぶリエっぺ」と名付けました。



▲皆でお揃いのオリジナルエプロンを着用します。

◆活動日

毎月第1・3水曜日の
午前9時から正午まで。
秋まつり準備期間の9・10月
は毎週活動しています。



▲手作りのヘッドホンケース。



▲この日は秋まつりの準備をしていました。



▲横川東小学校では有名なマスコットキャラクター「よこもん」もたぶリエっぺさんが考案。紙芝居も制作しました。



▲家庭科や音楽で使う教材も手作りです。

宇都宮市内の様々な学校で、地域の方がそれぞれの強みを活かし、子どもたちの学校生活を支えてくださっています。中でも、たぶリエっぺさんのように保護者や学校OGの方が中心となって、子どもたちの支援をしてくださるケースは貴重だと思えます。

たぶリエっぺさんの活動は、学校の中を明るい雰囲気にして下さるので、学校関係者としても大変ありがたく、心強いです。



横川東小学校
校長 山本 和生さん



▲手分けして作業するたぶリエっぺの皆さん。



▲秋まつりで販売したオーナメント。



いとくに、通りがかった子どもたちが「昇り口の飾り付けが新しくなったね」と、笑顔になってもうえた時がとっても嬉しかったです。



司書さんのおすすめの一冊

宇都宮市中央図書館に勤務されている司書の我蛭 祐璃さんから、おすすめの一冊をご紹介します。

市立図書館で貸出もしておりますので、ぜひご一読ください。



『大林くんへの手紙』

せいのあつこ / 著

PHP 研究所 2017年

ずっと学校を休んでいる大林くんへクラス全員で手紙を書くことになった時、主人公は気持ちの入っていない「ウソの手紙」を書いてしまいます。

本当の手紙を書きたいけれど、何を書けばいいのかかわからない主人公や、大林くんをきっかけに揺れるクラスメイトたちを通して、伝えることの難しさやもどかしさ、自分の意見を持つ勇気が伝わってくるおはなしです。

自分と違う他者を認め、正解はないけれど考え続ける主人公の姿に心動かされます。



中央図書館
我蛭 祐璃さん

※著者のせいのあつこさんはうつのみや童話の会会員です。
うつのみや童話の会は、年に1回同人誌「ふらここ」を発行しています。

PTAとは？

保護者と学校の先生で組織された子どもたちの健全育成のために活動する任意団体であり、学校・家庭・地域の連携の中心となって活動しています。

活動内容は、学校行事の支援や学校の環境整備、保護者向けの研修会開催など多岐に渡り、学校によって特色があります。

PTA会員の皆さんが楽しく、積極的に活動できるよう、皆さんの意見をなるべく聞き入れ、常に「工夫」の視点をもって活動ができるよう心がけています。

人間形成には各種の経験が重要と言われてしますので、子どもたちには学習、スポーツ、ボランティア、芸術鑑賞など、様々なことを体験してもらい、いろいろなことに興味を持ってもらえるよう、これからもPTAとしてサポートしていきたいです。

清原地区は、地域ぐるみで子どもたちを育てている地域です。PTAの皆様には、地域の方とのつなぎ役として、意見交換の場である「かじか会」や、地域一丸となって年1回開催する「清南まつり」等の各種行事を主催いただくなど、日頃からご尽力をいただいております。また、学校からのごお願いごとにも迅速かつ丁寧にお応えいただいております、大変感謝しております。

きらきらびと★みつけた

はやしで ひでゆき
横川東小学校6年生 林出 英之さん
第55回全国児童才能開発コンテスト
科学部門 高学年の部「水ロケットの研究」
文部科学大臣賞

林出さんは、宇宙に向かって発射するロケットがまぶしい光とたくさんの煙を出しながら、ゆっくりと雲の中に入って行く様子に関心をもち、ペットボトルを使った研究を始めました。

2年をかけ、改良を重ねたことでロケットがゆっくり、力強く飛ばようになり、同コンテストでは発想の豊かさも受賞につながりました。

中学生になっても、プログラミングを活用した科学実験に取り組んでいきたいです。



なら さき とも あ
榎崎 智亜選手

スポーツクライミング 東京五輪代表

僕がスポーツクライミングの選手を目指したきっかけはずっと続けていたいと思えるほど、この競技が自分に向いていると思ったからです。もともと器械体操をやっていましたが、技が怖くなって競技をやめてしまった後も何か運動したいと思い、兄が通っていたクライミングジムと一緒に遊びに行ったことがきっかけで競技に出会いました。自由なところや壁の中で自由に動ける楽しさが今も始めた当時と変わらず自分の中にあります。

一番困難だと感じた時は2016年にボルダリングで年間優勝、世界選手権優勝と自分が目標としていたものを達成した後の2017年のシーズンです。今振り返ると追われる立場になった時に守りに入ってしまう「勝ち切れない」ことがありましたが、その勝ち切れない事実から目をそらさず、自問自答し、今の状況を受け入れること、そして何をすべきかを明確にすることでシンプルな考え方に変わり、クライミングを純粋に楽しむこと、自分の持っている力を信じることで2019年は年間優勝、世界選手権でボルダリング、コンパインドの優勝を果たし、東京2020の内定を頂くことが出来ました。

自分を励ます言葉は特にありませんが、大事にしているものは「自信をもって楽しむこと」。「最強」や「初代王者」など自分を鼓舞する言葉を使うこともあります。口にしていくとその言葉通りに近づいていくようにも思います。

家族、スポンサーさんや地元の皆さんの応援が自分の競技を支えてくれていると思います。僕は好きなことをやっていて、プロになりました。結果が出ない時もあったけれど、「諦めない」ことが大切だと思っています。言葉にすることは簡単で、実際「諦めない」ことは苦しいこともつらいこともありますが、そこを乗り越えた時に目にする景色や、手に入れた時の喜びはさらに成長させてくれる自信になります。皆さんも諦めず、自分の好きなことを買ってください。

プロフィール

1996年6月22日生まれ。栃木県出身。169cm。
宇都宮北高等学校出身。

せきの しい
陽北中学校3年生 関野 思衣さん
全国中学スポーツ大会女子3メートル板飛び込み
優勝



目標は、栃木国体で優勝することです。

関野さんは、5年前から本格的に板飛び込みをはじめ、夏はプールでの実践練習、冬は陸上での体を作るトレーニングを重ね、自分らしい演技をするために、日々努力しています。

城山中央宮っ子ステーション 放課後子ども教室「くじら教室」
コーディネーター こまば めぐみ
駒場 恵さん

平成30年度に始まった「くじら教室」。そのコーディネーターとなったのが、駒場恵さんです。

魅力ある学校づくり地域協議会コーディネーターの経験を生かし、いつも優しく、時には厳しく、大きな愛を持って子どもたちと接しています。

くじら教室では、地域や子どもの家と連携し、様々な活動をしています。子どもだけではなく、携わる大人まで笑顔にしてしまう駒場さん。これからもくじら教室を盛り上げていってください。





「ひとり1スポーツ」を推進しています

宇都宮市には、地域にお住まいの方が主体となって運営する地域密着型のスポーツクラブが8つあり、幅広い世代・志向の方が体力や技術・技能レベルに応じて活動しています。

また、子どもから高齢者まで年齢問わず楽しめる「ニュースポーツ」の普及・促進をはじめ、地域のスポーツ活動の支援、実技指導などを行う109人のスポーツ推進委員も活躍しております。

身近な地域でのスポーツに興味のある方、ぜひスポーツ振興課までご相談ください。



☎スポーツ振興課 ☎ 028-632-2737



宮っ子ランチを開発しました

食文化への理解を深め、郷土への愛情を育めるよう、学校栄養士や食育主任と、「宇都宮ならではの」献立「宮っ子ランチ」を4つの季節に合わせて開発しました。

ユネスコ無形文化遺産にも登録された“和食”の良さが伝えられるよう、地元の新鮮な食材を使用し、栄養バランスに優れた、宇都宮の気候風土や先人によって培われた食文化を知ることのできる和食を中心としたメニューです。令和2年1月には、本市に伝わる「黄ぶな」の伝説をモチーフとした献立を全校で実施し、子どもたちからは、「宇都宮の郷土料理に興味を持たれた。」「地元の食材がいろいろあることがわかった。」などの感想が寄せられました。

今後、春・夏・秋にも「宮っ子ランチ」を実施していきます。楽しみにしてください。

☎学校健康課 ☎ 028-632-2757

黄ぶなランチ 献立

- ◇麦入りご飯
- ◇もやしとにらのごまあえ
- ◇里芋のコロッケ
- ◇かんぴょうの卵とじ汁
- ◇ゆずゼリー
- ◇牛乳



星が丘中学校合唱部

第72回全日本合唱コンクール全国大会

同声部門 文部科学大臣賞

入部したときから掲げていた夢をかなえられて、とても嬉しいです。



星が丘中学校合唱部

は、令和元年10月に岡山シンフォニーホールで開催された第72回全日本合唱コンクール全国大会の同声部門に参加し、フランス語歌詞の2曲を歌い切り、初出場で最高の賞にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。

陽南中学校2年生 ^{まつした} ^{ともゆき} 松下 知之さん

全国中学校水泳競技大会男子200メートル

個人メドレー 優勝



来年の「全国中学校水泳競技大会」では、新記録に挑んで、優勝したいです。

松下さんは、「全国中学校水泳競技大会」をはじめとした競泳男子の各種大会で優勝を果たされた中学競泳界の全国トップクラスの選手です。

さらなる高みを目指して、日々厳しい練習に取り組んでいます。

宮の原中学校3年生 ^{たにだ} ^{まさはる} 谷田 雅治さん

第50回全国中学校体操競技選手権大会 優勝

(男子個人総合・床運動)

優勝できて嬉しい。試合では、自分の持ち味も出せたので、自信につながりました。



谷田さんは、ジュニアの国際大会フューチャーカップ14歳以下の部で個人総合優勝の栄冠も手にしたことがある体操会の新星です。現在もパリ五輪への出場を目指し、日々努力をしています。

令和元年度の イベントの様子

ニュースポーツ大会・地域スポーツフェスタ(6/29)



市内外から97名の参加者が集まり、「さいかつぼーる」や「インディアカ」などニュースポーツの体験を実施。

プログラミング体験教室(9/1)

ロボットコンテストで指導チームを世界第3位に入賞させた帝京大学の蓮田裕一教授を講師に迎え、ロボットの操作体験教室を開催。



まちかどピアノ(10/19・20)



初の試みとして、誰でも自由に弾ける「まちかどピアノ」を東武宇都宮百貨店に設置。

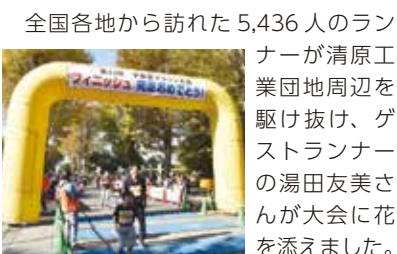
音楽を通じた交流の場を創出。

子どものもりフェスティバル(10/20)



舞ざり式での火おこし体験や命綱を装着した綱渡り、高さ5mの壁を登るクライミングウォールなどの無料体験で賑わい、1,300人が来場。

第33回宇都宮マラソン大会(11/17)



全国各地から訪れた5,436人のランナーが清原工業団地周辺を駆け抜け、ゲストランナーの湯田友美さんが大会に花を添えました。

宇都宮市民芸術祭40周年記念事業

5月～9月に開催

— 新時代の扉を開く 私たちが創るアートの1ページ —

文化活動の発表・鑑賞の場として親しまれてきた市民芸術祭が40回の節目を迎えたことから、本市ゆかりの文化資源「百人一首」をモチーフにした公演やメディア芸術部門を新設するなど、様々な記念事業を開催しました。

今後は、記念事業を通じた盛り上がりを生かして本市の文化芸術の裾野を更に広げるなど、市民芸術祭の新たなステージに繋げていきます。



記念公演 歌劇「歌法師 蓮生」を上演

蓮生(宇都宮頼綱)が求めた平和、人間愛、自然への畏敬など、「小倉百人一首」誕生にまつわるエピソードを織り込んだ歌劇の秀作「歌法師蓮生」を20年ぶりに上演。



宇都宮城址まつり 伝統文化と歴史の祭典(10/20)

江戸時代の日光社参行列の再現のほか、獅子舞やお囃子、民話語りなどの披露、ふくべ細工の絵付けや手まりづくり、伝統食の試食などを実施。



第25回うつのみや百人一首 市民大会(10/27)

百人一首のまちをアピールするため、ギネス世界記録「同時にかかるた遊びをした最多人数(高岡市:662人)」に挑戦。701人で見事達成。



土曜公開講座「教育なう」(11/9)

青山学院大学大学院の阿部和広特任教授を講師に迎え、「プログラミング教育から始まる新しい学び」と題した講演とScratchによるプログラミングを体験。



3×3体験教室(11/10)

かわちふるさとまつり2019において、地元の小中学生を対象に、BREXバスケットボールスクール田村・後藤両コーチによる3×3体験教室を開催。



第12回うつのみや人づくりフォーラム(11/24)

「AIと共存する次代を生き抜く人間力を考えよう」をメインテーマに掲げ、中高生によるパネルディスカッションや、藤原和博氏による講演会などを実施。



令和2年度 教育委員会イベントカレンダー

当日参加できるイベントなどをまとめています。
ぜひご来場ください。

各イベントの詳細情報は宇都宮市教育委員会
ホームページをご覧ください。



注目イベント

全国トップレベルの男子バレーを観戦!!/
令和2年8月 インターハイ開催



高校スポーツの祭典と言われる「全国高等学校総合体育大会」(通称：インターハイ)が開催されます。

- ▼日 時 令和2年8月21日～24日
- ▼会 場 宇都宮市体育館

とちぎ国体は42年ぶり!
とちぎ大会は初開催!

令和4年10月 栃木県で国体が開催



◆第77回国民体育大会
(いちご一会とちぎ国体)

- ▼開催日 令和4年10月1日～11日
- ▼開催競技
 - ・正式競技
(陸上・水泳など13競技)
 - ・特別競技(高等学校野球)
 - ・デモンストレーションスポーツ
(3×3など3競技)

◆第22回全国障害者スポーツ大会
(いちご一会とちぎ大会)

- ▼開催日 令和4年10月29日～31日
- ▼開催競技
 - ・正式競技
(陸上・水泳など5競技)

本市の開催競技や競技会場、競技日程などの詳しい情報は、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会宇都宮市実行委員会ホームページ」をご覧ください。

(URL : <https://www.utsunomiya-tochigikokutai.jp/>)



4月	●宮ステーションジャズ (～10月)
5月	●子どもフェスタ in 文化の森 ●うつのみや子ども賞表彰式及び受賞記念講演会 ●第41回宇都宮市民芸術祭 (～7月) ●家族ふれあいキャンプ ●南としょかん子どもフェスティバル
6月	●ミヤ・サンセットジャズ (～9月)
7月	●ニュースポーツ大会
8月	●全国高等学校総合体育大会 (インターハイ) ●冒険キャンプ ●ちびっこキャンプ
9月	●うつのみや文化協会まつり ●第22回うつのみやジュニア芸術祭 (～11月)
10月	●宇都宮城址まつり 伝統文化と歴史の祭典 ●蓮生記念第7回全国競技かるた宇都宮大会 ●第26回うつのみや百人一首市民大会 ●子どものもりフェスティバル
11月	●南としょかん祭 ●第34回宇都宮マラソン大会 ●第13回うつのみや人づくりフォーラム
12月	●もりであそぼう!～めざせ!遊びの達人～ ●フェアリー・ツリー妖精ねがいごとまつり (～1月)
1月	
2月	
3月	●冒険活動センターパネル展

宇都宮市育英基金への 寄附のお願い



◎宇都宮市では、大学・短大・専修学校などを卒業後1年以内に本市に戻り、5年間住み続けた場合に貸付金の返還が免除される**奨学金制度(返還免除型育英修学資金)**があります。

- 宇都宮市育英基金への寄附は、返還免除型育英修学資金免除の資金に使われます。
- 育英基金は、個人・団体問わず、どなたでもご寄附いただけます。
- 詳しくは、教育企画課へお問い合わせください。

☎教育企画課 028-632-2705

令和元年度 返還免除型育英修学生

まわ みさき
間庭 美咲さん

現在大学で、マリンバ奏者になるための勉強をしており、奨学金は楽譜や打楽器の演奏時に使用するマレットの購入費、コンクール参加費などに充てています。



卒業後は、宇都宮市を中心に音楽教育に携わるほか、マリンバの演奏者としても活躍したいと考えています。

学校応援制度への寄附にご協力ください



協力企業一覧 (H31.2 ~ R2.1)

- 株式会社ベルモール
 - 株式会社美工電気
 - 株式会社大塚カラー
 - 福宮建設株式会社
 - 有限会社石川印刷所
 - 株式会社五光宇都宮店
 - 株式会社ホクエツ関東栃木営業所
- ※敬称略、順不同



▲令和元年5月20日 育英基金・学校応援制度への寄附にご協力いただいた企業の皆様への感謝状贈呈式の様子

ご寄附いただいた封筒は、保護者や地域住民の方への通知に活用させていただきます。



あなたの真ん中へ。この世界の真ん中へ。

COROLLA



カローラ G-X(ガソリン車)
(1.8L・2WD・5人乗り) 車両本体価格 **1,936,000円** (税込)
Photo: G-X(2WD)。ボディカラーはスカーレットメタリック(3U4)(33,000円)はメーカーオプション。上記の価格には含まれておりません。

試乗会開催中

カローラツーリング G-X(ガソリン車)
(1.8L・2WD・5人乗り) 車両本体価格 **2,013,000円** (税込)
Photo: G-X(2WD)。ボディカラーはダークブルーマイカメタリック(8W7)

※価格はタイヤバンク応急・修理キット、タイヤ交換用工具付の価格です。保険料、税金(除消費税)、登録料等の諸費用は別途申し受けます。価格にはオプション価格は含まれておりません。自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要となります。詳しくはスタッフにおたずねください。掲載の内容は2020年2月現在のものです。



トヨタカローラ栃木

本社 / 宇都宮市上横田町798番地 ☎0077-78-1233

トヨタカローラ栃木のホームページ

最新情報を発信中!!

試乗のご予約もコチラから→
<http://www.corolla-tochigi.co.jp>

